

# まつぼっくり



宇城市立三角小学校  
学校だより 第34号  
文責 校長 西村羊治  
令和7年9月1日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」  
～当たり前のことをきちんとやる人材育成をとおして～

## みすみアラカルト

9月に入りました。今年度がスタートし、早いもので5ヶ月が終わりました。その間、私が知らなかった三角町のことをいくつも知ることができました。三角小の3本の登校坂、新栄橋、その橋が架かる際崎川を泳ぐボラ、天翔台・三角岳、大きなまつぼっくりをたく



ボラ

わえる大王松、三角小は標高34メートル、三角図書館、市役所三角支所、海上保安庁、子ども達を見守る地域の方々、戸馳島の田んぼ、戸馳大橋、若宮海水浴場、週末の三角東港・三角西港の釣り人、素直な小学生・中学生、朝からあいさつをすればあいさつを返してくださる地域の方、朝早く校庭を散歩される地域の方、学校に協力的な保護者・地域・行政の方々、三角とはあまり縁のない方の三角小への愛と応援、敷地内にある戦没者慰霊碑・百周年記念碑、学校合併時の記念碑などたくさんの自然や重要な文化財、温かい人々が



記念碑



東港

おられて、とても素晴らしいところです。一番は素直で明るい子どもたち。宇城市教育委員会の指導主事時代、三角中・青海小・三角小とそれぞれ数回訪問させていただきましたが、その数時間の訪問でも「いいところだなあ」と感じていました。校舎内の窓から見える海、校舎の裏にある天翔台、とても美しくきれいで自然豊かな、いやされる光景です。



天翔台

いろいろな思い出があります。天草から松橋に出てきた母にとって、年一回の里帰りはとても嬉しいものであったことと思います。時々母が、「海を見たい」とか「新鮮な魚を食べたい」と言っていたことを思い出します。「親孝行したいときには



慰霊碑

親はなし」、よく言ったものです。私はまさしくそうになりました。このことで私は小学生の時、毎年三角を父の運転する車で通っていたのです。やはり縁を感じずにはおられません。

縁があって三角の町で働くことができ、三角の子どもたち・職員・保護者、三角の地域の方々との出会いは、まさしく私にとっての宝物です。冗談抜きで、朝起きて通勤するときはわくわくしています。退勤時は満足感いっぱい運転しています。この縁に感謝しながら微力ではあるし失敗したり、ご迷惑をおかけしたりすることがある



大王松

かもしれませんが、校長として誠実に職務に専念していきたいと思います。今年度の残された7ヶ月間も、どうぞよろしくお願いいたします。